小学生国語　基本文法001　主語（しゅご）と述語（じゅつご）　001

日本語の基本文法を確認していきましょう。

今回は主語と述語です。小学三年生くらいから学べる内容ですが、小学生高学年や中学生・高校生の再確認・大人の学び直しにも活用してください。

例文

1　私は、コンビニへ行った。

2　父が、グラタンを作る。

主語は、何かする人や物で、〇〇は、〇〇が、となります。例文の場合、私は・父が　です。

述語は、主語の人や物がする動作や様子で、その文の結論です。例文の場合、行った・作る　です。

どちらも重要ですが、文の結論を言っているのは述語ですから、述語がより重要ということになります。

まとめ　主語は何かをする人や物で、〇〇は・〇〇が

述語は主語の人や物がする動作や様子で、その文の結論。より重要です。

次は少し長めの文章でも主語と述語を見つけてみましょう。

例文

3　天気が良さそうだったので、私は歩いてショッピングモールへ買い物に行った。

4　母はスーパーのお肉売り場で、鶏肉と牛肉を買った。

5　この山の頂上から見える風景は、とても美しい。

主語と述語を見つけられましたか。

3の主語は（ 私は ）・述語は（ 行った ）です。

4の主語は（ 母は ）・述語は（ 買った ）です。

5の主語は（ 風景は ）・述語は（ 美しい ）です。

では次の例文も見てみましょう。

例文

6　レストランで大好きなハンバーグを食べた。

7　家を出るのが少し遅かったので、駅まで少し走った。

主語と述語を見つけられましたか。

6の述語は（ 食べた ）です。

7の述語は（ 走った ）です。

あれ・・・主語は・・

そうです。どちらの文章にも　〇〇は、の主語がありません。

主語が無くても、述語の動作をした人は、この文章を書いた人・言った人だとわかるので、主語が省略されているのです。つまりさきほどの例文に主語をつけると、

6　私はレストランで大好きなハンバーグを食べた。

7　私は家を出るのが少し遅かったので、駅まで走った。

このようになります。これで主語と述語がある文になりましたが、これが実際の会話だとどうなるのでしょうか。（次のページに続く）

小学生国語　基本文法001　主語と述語　002

例文

8　Aさん：昨日の夕食、何食べたの？
　Bさん：レストランで大好きなハンバーグを食べたよ。

となりますが、これらの文に主語を入れてみると、

9　Aさん：昨日の夕食、あなたは何食べたの？
　Bさん：私はレストランで大好きなハンバーグを食べたよ。

となります・・・が、なんだかぎこちない会話というか、不自然ですよね。

AさんとBさんの二人の会話ですから、目の前の相手に対して　あなたは　と言う必要は無いですし、答える側も　私は　と言わなくても相手もわかります。

このように主語は無くても会話や文章は成り立ちます。

日本語では主語を省略することが多いのです。

述語が省略されることは少ないのですが、主語が省略されることは会話では多く、書き言葉でもよくあることです。

まとめ

日本語では**主語は省略される**ことも多い。

特に会話文や小説では多いので、誰のセリフなのか、動作主は誰なのかを意識することも重要となります。

述語が省略されることはほとんどありません。

例題A　次の文章で主語と述語を見つけて（　）に書こう。無い場合は、無しと書こう。

	主語	述語
1　おばあちゃんは病院までタクシーに乗って行った。	（　　）	（　　）
2　兄はオムレツとローストビーフを作るのが得意だ。	（　　）	（　　）
3　私たちは午前中、遊園地でたくさんアトラクションに乗った。	（　　）	（　　）
4　赤い目のパタゴニアカイツブリは上手に踊る。	（　　）	（　　）
5　花屋さんでフリージアとアルストロメリアを選んだ。	（　　）	（　　）
6　かなり広いんだね、この湖は。	（　　）	（　　）
7　ただ単に走るような競技よりも、ボールを使った競技が得意だ。	（　　）	（　　）
8　どちらのラケットを買うのかを、ダイキチは決めかねていた。		
今まで使っていたのものと同じ好きなメーカーは青色のほうだが、手に持ってしっくり馴染むのは別メーカーの緑色の方かもしれない。		
かなり迷ったが、今回は緑色の方に決めた。	（　　）	（　決めた　）

（例題の解答と解説は、次のページにあります）

例題の解答と解説

例題A　次の文章で主語と述語を見つけて（　）に書こう。無い場合は、無しと書こう。

	主語	述語
1 おばあちゃんは病院までタクシーに乗って行った。	（おばあちゃんは）	（行った）
2 兄はオムレツとローストビーフを作るのが得意だ。	（兄は）	（得意だ）
3 私たちは午前中、遊園地でたくさんアトラクションに乗った。	（私たちは）	（乗った）
4 赤い目のパタゴニアカイツブリは上手に踊る。	（パタゴニアカイツブリは）	（踊る）
5 花屋さんでフリージアとアルストロメリアを選んだ。	（無し）	（選んだ）
6 かなり広いんだね、この湖は。	（この湖は）	（広いんだね）
7 ただ単に走るような競技よりも、ボールを使った競技が得意だ。	（無し）	（得意だ）
8 どちらのラケットを買うのダイキチは決めかねていた。		
今まで使っていたものと同じ好きなメーカーは青色のほうだが、手に持ってしっくり馴染むのは別メーカーの緑色の方かもしれない。		
かなり迷ったが、今回は緑色の方に決めた。	（ダイキチは）	（決めた）

ポイント解説

2 作る　も動作ですが、作るのが　となっていて結論ではありません。

4 パタゴニアカイツブリが鳥だとわからなくても、赤い目のと書いてあるので生き物だとわかります。

5 主語が省略されています。

6 主語と述語の位置が反対になっています。（倒置法）

7 主語が省略されています。

8 一文ではなく、文章の中で主語を探す問題です。
述語の　決めた　のは誰かを考えれば、すぐに答えは見つかります。
シンプルな文にすると、
ダイキチは、緑色のラケットに決めた。
となります。